

# 令和5年度第1回秋田県高齢者対策協議会及び 第1回秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会 会議録

## 1 会議の日時及び場所

日時 令和5年8月30日（水）午後3時15分～午後5時15分

場所 秋田県議会棟 大会議室

## 2 出席者

### ●秋田県高齢者対策協議会委員（五十音順 敬称略）

石村 照子	公益社団法人認知症の人と家族の会秋田県支部
小野崎 圭助	一般社団法人秋田県医師会
萱森 真雄	秋田県老人福祉施設協議会
佐々木 修	一般社団法人秋田県薬剤師会
鈴木 信久	秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会
鈴木 博	社会福祉法人秋田県社会福祉協議会
畠山 桂郎	一般社団法人秋田県歯科医師会
古谷 勝	秋田県国民健康保険団体連合会
細越 満	秋田県町村会
森合 真由美	公益社団法人秋田県看護協会

### ●秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会委員（五十音順 敬称略）

佐藤 俊一	一般社団法人秋田県社会福祉士会
須藤 恵理子	公益社団法人秋田県理学療法士会
高橋 祐策	秋田県認知症グループホーム連絡協議会
津軽谷 恵	一般社団法人秋田県作業療法士会
渡部 幸雄	一般社団法人秋田県介護福祉士会

### ●秋田県

片村 有希	秋田県健康福祉部次長
伊藤 幸喜	秋田県健康福祉部長寿社会課長

小柳和己	秋田県健康福祉部長寿社会課調整・長寿社会推進チーム	リーダー
藤原貴晃	同	介護保険チーム
半田亨	同	介護人材対策チーム
佐藤亜希子	同	介護保険チーム
熊谷英樹	同	調整・長寿社会推進チーム
山田大祐	同	調整・長寿社会推進チーム

事務局（秋田県健康福祉部長寿社会課）

### 3 報告

- (1) 秋田県高齢者対策協議会 会長・副会長の指名について  
 会長に秋田県医師会 小野崎委員  
 副会長に秋田県老人福祉施設協議会 萱森委員  
 を知事が指名したことを報告し、了承。
- (2) 秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会委員の指名について  
 秋田県老人福祉施設協議会 萱森委員  
 秋田県薬剤師会 佐々木委員  
 秋田県地域包括・在宅介護支援センター協議会 鈴木委員  
 秋田県歯科医師会 畠山委員  
 秋田県看護協会 森合委員  
 秋田県医師会 小野崎委員を会長が指名したことを報告し、了承。
- (3) 秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会の部会長及び副部会長の指名について  
 部会長に秋田県医師会 小野崎委員  
 副部会長に秋田県老人福祉施設協議会 萱森委員  
 を会長が指名したことを報告し、了承。

### 4 議題

- (1) 秋田県第9期介護保険事業支援計画・第10期老人福祉計画の策定について

	(資料1から資料5に基づき事務局説明)
小野崎会長	委員の皆様から御意見・御質問をいただきたい。
萱森委員	短期入所生活介護施設、いわゆるショートステイが、全国平均を大幅に上回っていることに驚いた。 特別養護老人ホームなどの入所施設は、地域の介護保険事業計画に沿って事業許可がされ施設整備等されているが、ショートステイは施設整備に対する規制がない。私は横手市に住んでいるが、私の知らない間にも3、4か所くらいショートステイが開設されている。 ショートステイの整備に対して、何らかの規制をしないと、人材不足

	<p>も含めてですが、大変なところに差し加かっていくのではないかと いうことで、県の見解をお聞きしたい。</p>
事務局 (伊藤課長)	<p>入所系の施設については施設整備に当たっての規制があるが、短期 入所生活介護は在宅サービスとなっているため、施設整備を制限する ことはできないことになっている。</p>
事務局 (藤原リーダ ー)	<p>1点補足させていただくと、ショートステイの施設数は平成18年頃 から平成24年頃にかけて急増したが、最近は減少している局面にあり、 新しくどんどんできてきているという状況ではない。</p>
萱森委員	<p>人材不足のため、ショートステイとの介護職員の取り合いが起きて いる。人材紹介会社を利用すると3割ぐらい手数料を払わなければい けない状態である。</p> <p>他の都道府県では、それほどショートステイの数が増えていないよ うなので、ショートステイの開設に対して、何らかの規制をかけている のではないかと、ということも含めてお聞きしたものである。</p>
事務局 (藤原リーダ ー)	<p>過去には、ショートステイの開設に対して指定基準が厳格化される のではないかとという憶測が流れた時期があり、その時に駆け込み需要 等があつて急増したという話を聞いたことがある。そういったことも 数が多い理由の1つになっているのかもしれない。</p> <p>ショートステイにおいても人材不足が問題になっており、中には、人 員基準を満たせなくなって、通所系のサービス等に転換したいといっ た相談も出てきている状況にある。エリアによって状況は違うと思 うが、そういう地域もあると認識している。</p>
小野崎会長	<p>ショートステイの制度自体は良いと思うが、今回の新型コロナにお いても、ショートステイには看護師や医師がいないということで、施設 内で感染拡大した事例も多かったため、管轄しているところに何とか してもらいたいと思ったことがあつた。</p> <p>本県のショートステイが全国平均よりも大幅に多かったことに驚い た。</p>
小野崎会長	<p>老人福祉圏域についてお聞きしたい。二次医療圏が3つになること に併せて、老人福祉圏域も3つに変更になるとの説明があつたが、介護 保険料はどうなるのか。</p> <p>介護保険料は、市町村(保険者)ごとに決めていると思うが、3圏域 になることによって保険料には影響は出てくるのか。</p>
事務局 (藤原リーダ ー)	<p>老人福祉圏域が3圏域になったとしても、利用者は、基本的には、近 隣にある介護事業所等を利用することになると思われるため、介護保 険料にはそれほど影響は生じないものと考えている。</p>

小野崎会長	<p>介護保険料は、3圏域になってもこれまでどおり市町村（保険者）ごとに定めることになるのか。それとも老人福祉圏域ごとに統一するなどの対応がとられるのか。</p>
事務局（藤原リーダー）	<p>介護保険料は、老人福祉圏域が変わったとしてもこれまでどおり保険者ごとに独自に定めるものである。</p> <p>なお、介護保険施設の必要利用定員総数や介護サービス量の見込み等については、3圏域ごとに介護保険事業支援計画に記載することになる。</p>
渡部委員	<p>介護福祉士の処遇の改善が一番の悩みになっている。職員の人材確保に向けた対策ということで、更なる取組をお願いしたいと思っている。</p> <p>認証評価制度については、認証評価を受けてる事業所からメリットやプラス効果など公表していただき、一般の方に広く宣伝することで人材確保につながると考えており、セミナーやPR動画などで広報したり、地元新聞の記事でも大きく取り上げてもらったりしているが、なかなか浸透していかないのが悩みである。</p> <p>職員の資質の向上については、介護職は賃金が安いという意識が根強く、それを払拭できないのが現状。県の施策の中でも、賃金向上をどう図るかは難しいテーマだと思うが、知事の思いもあるようなので、介護職員の賃金向上に向けての施策を検討していただければありがたいと思う。</p> <p>私が所属している秋田県介護福祉士会では、スキルアップの研修事業を行っており、一定の受講料を設定して県内の介護職員に案内しているが、中には高額な受講料になる研修もあるので、県のスキルアップ研修事業の中で支援の検討をお願いしたい。</p> <p>人材不足はかなり深刻な状況にあると認識している。</p>
小野崎会長	<p>介護職員のスキルアップ研修会の案内は私のところにも届くが、参加させたいと思っても、その人が研修に行くと現場の人がいなくなるため出せないというようなことも多い。これも人材不足からくるものだと思うが、そういった現状もあるということをつけ加えさせていただきたい。</p>

(2) 南部老人福祉総合エリア「老人専用マンション（有料老人ホーム）」について

	(資料6に基づき事務局説明)
小野崎会長	委員の皆様から御意見・御質問を頂きたい。
小野崎会長	老人専用マンション入居者数が平成23年から右肩下がりになっている

	<p>るのは、県内の有料老人ホーム数が 111 施設に増えたことも影響しているとの説明があったが、本県の有料老人ホームの施設数は、全国的に見て、人口等で比較すると多いのか少ないのか。</p>
事務局（小柳リーダー）	<p>本県の令和 3 年の 65 歳以上の人口千人当たりの有料老人ホームの施設数は、全国で 31 番目の水準になっている。</p>
小野崎会長	<p>施設の老朽化はどれくらいか。</p>
事務局（小柳リーダー）	<p>耐用年数 50 年に対して 32 年経過しており、あと 18 年は使えることになっている。バリアフリー改修も行っており、改修した階はバリアフリー化されており、内外装の改修もしたので見た目はきれいである。</p>
小野崎会長	<p>入居者が少ない理由は、老人専用マンションの入居費用が高いのが原因なのか。</p> <p>サービスの的には有料老人ホームなので、基本的に同様のサービスが提供されているのか。</p>
事務局（伊藤課長）	<p>老人専用マンションは、開設当時としては建物の質感・部屋の広さなどのグレードの高さが特徴だった。</p> <p>一般的な有料老人ホームの部屋の広さは 15 m<sup>2</sup>程度だが、老人専用マンションは 35 m<sup>2</sup>程度あり、m<sup>2</sup>当たりの単価は有料老人ホームと同程度だが、一部屋当たりの家賃は高くなっている。</p> <p>また、32 年が経過し老朽化もしている中で、バリアフリーに対応していない階があるなど、介護が難しいところもあり、そうした中で、新設の有料老人ホームの方が比較的安く入居でき、バリアフリーにも対応していることから、このマンションを選んでいただけないことが入居者が少ない要因と考えている。</p>
小野崎会長	<p>今後、高齢者数は右肩上がりが増えるわけではなく、減る方向であるため、このような施設を維持することは大変だと考えている。</p>

### (3) その他

小野崎会長	<p>委員の皆様から会議全般的な御意見・御質問をいただきたい。</p>
小野崎会長	<p>人材確保の件で、外国人の定着率が少ないと思っていた。先ほどの説明で外国人の就職率などは、今どのような状況になっているか。</p>
事務局（伊藤課長）	<p>就職率は把握していないが、県内では介護に従事する外国人は 128 名程度いる。</p> <p>暖かい国から来た外国人の中には、気候の厳しい秋田から関東地方に行ってしまう人もいるという話を聞いている。</p> <p>技能実習生は、先ほどの資料にあるとおり年々増えているので、ある程度確保されているものと考えている。</p>

小野崎会長	外国人は、真面目な人が多く、一生懸命働く方が多いと聞いている。 やはり、気候的な問題だとか、秋田より関東エリアの方が楽しい場所も多いし、外国人も若者と同じように考えていると伺ったことがあるが、これからの人材不足を考えると、外国人をどうやって育成して定着させていくのか、難しい課題ではあるが考えていく必要がある。
事務局 (熊谷)	以上をもって、令和5年度第1回秋田県高齢者対策協議会及び第1回秋田県高齢者対策協議会高齢者介護部会を閉会します。